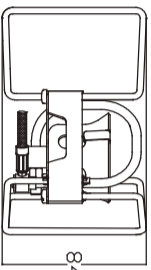




# FMS-F5 TURBINE CAMPING GASOLINE STOVE

Type : 1102005  
閉鎖時サイズ: φ178x84mm  
収納時サイズ: φ80x84.5mm  
重量: 1.70.5g(本体)  
出力: 477g(ボンプ), 128g(ボトル)



本取扱説明書を必ずよく読んでからご使用ください。

この度はFire-Mapleの製品をご購入頂き誠にありがとうございます。安全に長期にご使用いただくため、本取扱説明書を必ずお読みください。Fire-Maple FMS-F5 "TURBINE" は、新世代のキャンピング用ガソリンストーブです。

### 特長:

1. 大型リッジ型リヒートチューブを採用し、強い火力を備えています。
2. 独自のX-Pinlianボンプを採用し、堅牢で扱いやすく、効率の良いポンピングを実現しています。X-Pinlianボンプは軽重一体型チューブを採用し、重量はわずか47gです。シリアルデュースへの重量負荷を効果的に低減します。他のボンプと比較してX-Pinlianボンプはよりスムーズに圧力をかけられます。高強度のエンジニアリングプラスチック製のX-Pinlianボンプは、さまざまな屋外環境で使用可能です。
3. FMS-F5の正確な火力調整力は様々な調理を可能にします。
4. Fire-Mapleが独自に開発したバクワ型サポートは大きな鍋にも対応しています。

※一般的なガスストーブに比べ火力調整力は劣ります。  
本取扱説明書に理解しにくい箇所がある場合、ご使用前に必ず輸入販売元にご連絡頂きますようお願い致します。  
Fire-Mapleの全ての燃焼機器は出荷前に燃焼試験を行っています。したがって、燃焼ヘッドに多少の曇りがあることをご理解ください。

### ガソリンストーブの作動原理

ガソリンストーブの作動原理は航空エンジンと似ています。まず燃料の予熱と燃料ボトルの圧力によりガス化させ、次に酸素と混合し燃焼させます。

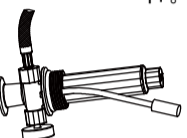
1. ガソリンがリヒートチューブを通して膨張し、高温高压下でガス化します。
2. ガス化して空気と混合した後、ガソリンがバーナージェットから噴射されます。そしてバーナー上に点火することが可能になります。

### 推奨使用燃料

ガソリン以外の燃料はご使用にならないで下さい。あらゆる種類のガソリンで使用可能ですが、ホワイトガソリン、または無鉛レギュラーガソリンの使用をお勧めします。

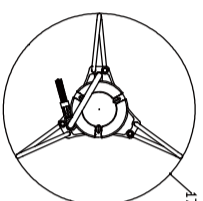
### 使用前点検

1. 火力コントロールノブがオプツの位置にあることを確認します。
2. 燃料漏れを防ぐためリッジを確認し、正しい位置にあることを確認します。
3. 燃料ボトルとボンプをまっすぐに持ち、ボンプのネジ部分を燃料ボトルのネジ部に慎重に合わせ、自然に止まるまでボトルを度面から見て時計回りに回し、止まったところからしっかりと締めます。リッジを傷めないよう締め過ぎにご注意下さい。
4. ボンプと燃料ボトルの間に漏れがないことを確認します。



### 使用方法

1. ガソリンを充填する際、容量線より上まで給油しないでください。
2. ボンプと燃料ボトルをしっかりと締めます。ストーブサポートを開き、調整ノブがOFF(最も上)側にある状態の位置にあることを確認します。
3. ボンプを20回程ポンピングします。燃料が少くない場合はポンピングの回数を増やしてください。ポンピング後、全ての接続部分に燃料漏れがないか確認します。
4. ストーブと燃料ボトルを水平に保ち、燃料ボトルを後ろに向けてストーブから離します。ボンプのOnJの表示が上向きになっていることを確認します。
5. 調整ノブを反時計回りにゆっくりと1回転させ、3秒間待ち、微量のガソリンをバーナージェットから出します。そして火力コントロールノブを素早く閉じます。



6. ビーカー下部の穴から点火します。点火するときに大きな火花が発生する可能性があります。ストーブから遠ざかってください。炎が燃え尽きる前に調整ノブを反時計回りに回し、弱火から強火まで回転させます。炎が黄色い場合は、予熱が不十分です。青い炎が出るまで火力を弱め、十分予熱してから出力を上げてください。
7. 予熱時間は約1分30秒ですが、周辺圧力と温度によっては長くなる場合があります。
8. ストーブの使用を終了するときは燃料ボトルをOFFと表示された側に180度回転させてください。炎は約1分後に燃え尽きます。燃料ボトルを取り外す場合、ボトル内の圧力が無くなったことを確認してから行ってください。バクワキャンピングはストーブ本体が冷えた後、原則として燃料が空の状態で行ってください。

### 液体燃料使用時の注意

1. すべての可燃物を上部から少なくとも3m、ストーブの側面から1m以上離します。
2. ストーブ燃焼中はストーブを動かさないでください。
3. 火が消えたとき、再点火をしないでください。ストーブが冷えるのを待ち、再度予熱してからご使用ください。
4. このストーブは必ず屋外でご使用下さい。テントの中、密閉された空間、または車内では絶対に使用しないでください。大量の酸素を消費するため、密閉された空間で使用するとは酸化炭素中毒や火災につながるため、非常に危険です。燃料ボトルの取り付けや取り外しをするとき、少量のガスが漏れることがありますが、裸火や、火花、積火などの発火源や、他の人々から遠ざかることが重要です。ストーブの濡れがある場合は、直ちに換気の良い炎のない場所へ移動していただき、ストーブの濡れを確認する時は外で行ってください。炎を使用して濡れを換出しようとして、石鹸水を使用しないでください。
5. 燃焼中はストーブから目を離さないでください。
6. 推奨燃料以外のガソリンや灯油を使用する場合は、メンテナンス頻度を上げてください。
7. 長期間ストーブを使用しない場合、ボンプのハンドルのラバーパッキンが乾燥し、ポンピングしても圧力がからなくなる場合があります。その場合は、潤滑油を追加してください。ラバーパッキンを交換する必要はありません。
8. つまみ原因となる為、最小火力で長時間使用しないでください。

### メンテナンス

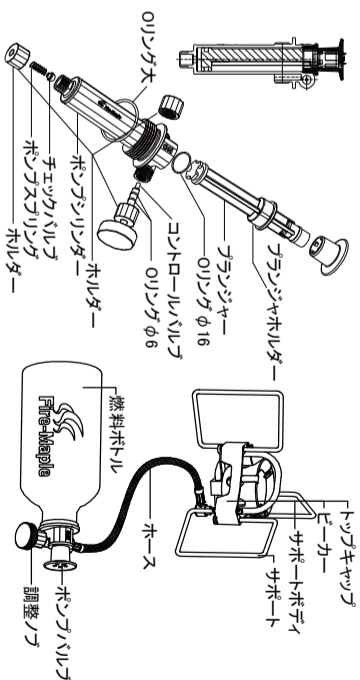
液体燃料ストーブは定期的なメンテナンスが必要です。特にハイオクガソリン等の推奨燃料以外を通常使用する場合は、ストーブのメンテナンス頻度を増やして下さい。メンテナンスにより安全で効率的な動作が保たれます。

1. ジェットクリーニング: 調整ノブを開いて、ストーブを燃料ボトルまたはボンプから外します。ビーカーを外し、付属品のスクリュードライバーの針でジェットを外し、ジェットを取り外して清掃します。
2. ボンプの清掃: ボンプに圧力がない場合は、気密性のある油で潤滑します(植物油でも可)。ブランチジャーを反時計回りに回して外し、ブランチジャー(植物油でも可)。ブランチジャーを反時計回りに回して外し、ブランチジャー

### 付属品

1. レンチ
2. ジェットクリーニング
3. オプションφ16
4. オプションφ6 x1.9 x2
5. ジェット x3
6. ツール
7. 4mm S/Sスクリュー
8. ボンプスクリュー
9. シーリングオイル
10. シーリング x3

品名	数量	備考
① トップキャップ	1	0.8
② ビーカー	1	0.6
③ ツール	1	10.11を含む
④ ツリヤー	1	2.5
⑤ サポート	3	3.5mm鋼線
⑥ ジェット	1	0.36mm
⑦ ナット	1	1.4mm
⑧ サポートバー	3	M4
⑨ ホルト	1	
⑩ スーツ	1	
⑪ タグ	1	
⑫ タクエニット	1	5mmツルネジ
⑬ S/Sスクリュー	1	
⑭ スペーサー	6	3x6.2x0.6
⑮ サポートナット	1	
⑯ ハット	1	
⑰ シーリング	2	6x1.9
⑱ 部品名	数	備考



### よくある質問

1. 燃料漏れ  
コントロールバルブコントロール(調整ノブ)を交換します。燃料ボトル-ボンプ接合部: リッジを交換します。燃料ボトルが破損している場合は交換してください。ホース-ボンプ接合部: リッジを交換してください。ホース-ボンプが経年劣化しているか破損している場合は、Fire-Mapleの販売店にお問い合わせください。  
ジェット: ジェットが壊れている場合は、ジェットが正しく固定されており、調整ノブがOFFになっていることを確認してください。調整ノブが閉じているときにジェットから燃料漏れがある場合は、コントロールバルブがねじ込まれて壊れている可能性があります。ボンプ本体を交換してください。
2. 出力の不安定  
不安定な黄色い炎: ボトル内の圧力が不足している場合はポンピングしてください。余熱が不十分な時は燃料の量を減らして十分に予熱してください。劣化した燃料が原因の場合は、燃料を交換してください。
3. バクワマウントの低下  
火力低下または長時間燃焼  
長時間燃焼させているとボトル内の圧力が下がります。手ごたえを感じるまでポンピングして下さい。品質の低い燃料や古い燃料を使用すると、ジェットが詰まります。ジェット-ホースを清掃し、燃料を交換して下さい。赤い炎は正しくありません。圧力を上げて適正圧力を保ってください。詰まりがある場合は、ジェットを清掃して正しくセットしてください。  
4. 圧力がからない  
オイルボンプのストッパーが乾燥している。ボンプにシーリングオイルを塗布してください。(シーリングオイルは付属しています)

### 点検と修理

全てのFire-Maple製品には3年間の保証があります。Fire-Mapleは、全ての製品が正しく動作する為に万全を期しておりますが、万が一製造上の欠陥であると判断された場合、無償で修理または交換させていただきます。ごA部品などの消耗品に関しては保証対象外となります。不適切な使用による故障の場合、修理をお断りさせていただきます。詳細につきましては下記をご参照ください。

### 保証対象外の例

1. 長期の使用または材料の磨耗による損傷。
2. 不適切な使用による破損。
3. ご自身による分解・修理が原因の破損。
4. 取扱説明書で禁止されている操作による製品の故障
5. 予期せぬ事故による破損。
6. 製造不良が原因でない場合。
7. 他社製品との組み合わせによる故障。

### アフターサービスの手順

不良品と領収書と破損の状況・原因が分かる物をご用意いただき、購入店舗に送付して下さい。保証期間外の場合修理代をご連絡させていただきます。

輸入販売元: 株式会社申子ツク  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-2  
https://deemr-tech.jp/  
E-mail: info@deemr-tech.jp

Manufacturer: Zhejiang Deemr Outdoor Products Co., Ltd  
A400 Southwest Industrial Zone, Shui Street, Wuyi Town, Jinhua City, Zhejiang, China  
http://www.fire-maple.com E-mail: info@fire-maple.com

### Deemr Outdoor